

## レクリエーション上級指導者 に関する調査研究（Ⅱ）

－指導及び資格に対する意識を中心に－

○仲野隆士（中京大学） 永松昌樹（中京大学大学院）

守能信次（中京大学） 江橋慎四郎（中京大学）

レクリエーション上級指導者 指導意識 資格

### 1. はじめに

国民の健康やスポーツに対するニーズの高度化・多様化が増大しつつある今日、それらのニーズに対応するための各種の指導者及び指導者資格が注目を集めている。特にレクリエーション（以下、レク）の分野では、日本レク協会公認の指導者がそれである。人々のレクに対するニーズがさらに高度化・多様化していくのであれば、今後益々彼らに対する専門的な指導者としての資質が望まれると言えよう。このような状況に鑑み、我々は指導者養成に直接携わり指導者の頂点に位置しているレク協会公認の上級指導者に焦点を当てることにした。

まず、研究（Ⅰ）では活動実態について分析したが、指導を巡る環境という点で彼らの置かれている状況は、必ずしも恵まれているとは言い難い結果が得られた。そこで本研究（Ⅱ）では、指導状況及び資格そのものに対する彼らの意識を明らかにし、上級指導者がいかなる意識を持って指導に携わっているのかを把握すると共に、上級、あるいは一般的にレク指導者を志す人々に対して一つの指標を提示することを目的としている。

### 2. 研究の方法

データ収集：研究（Ⅰ）と同様、分析方法：記述統計および林の数量化理論第Ⅱ類等

研究問題：上級指導者の年齢層による指導意識の相違、指導状況に対する満足・不満足  
を規定する要因、上級指導者資格の現状評価と将来に対する期待の相違等に関する研究問題を設定した。

### 3. 結果と考察

まず、指導者の年齢層の違いによる指導意識の相違を捉えるため、資格取得の動機、指導者に望まれる資質、技術に対する満足度等の項目とのクロス分析を実施した。その結果、資格取得の動機と技術に対する満足度の2項目に統計的に有意な差が認められた。資格取得の動機では、年齢層が高いほどレクを社会に普及したいという動機が多く、年齢層が低いほどレクへの興味という動機が多く見られ、社会的なものから個人的な動機に移行する傾向にある。技術に対する満足度では、年齢層が高いほど技術的に満足する傾向にあることから、指導技術に対する自信というものが指導歴と関連を持つことが示唆された。指導者に望まれる資質に関しては、年齢層を問わず「高度なレク指導の知識・技術」と「人間性」という2つの資質に集中する傾向にある。また、指導に関する問題点を自由回答で回答してもらいそれをまとめた結果、「指導のマナー化」、「新しい種目（特に最近注目され出しているレク・スポーツ）に対する知識不足」、「講習会等における受講生の年齢が低いことに対する考え方や捉え方の相違」などに意見が集中していた。これらは上級指導者の平均年齢が53歳という状況から派生する意見であろうが、今後検討すべき問題であることには違いなからう。

次に、上級指導者の活動状況に対する満足・不満足がいかなる要因によって規定される

のかを分析した結果（表1）、設定した説明変数による判別力を示す相関比（ $\eta$ ）は.580、また判別率的中率は78.2%と、比較的高い値が得られた。レンジ及び偏相関係数の順位と個々のカテゴリースコアを吟味した結果、満足群は個人のレクに対する知識や技術を高く評価し指導の頻度も多く、不満足群はその逆の傾向を示した。このことは、年齢層が高いほど満足の方向にウェイトが置かれていることと相まって、指導歴が長く専門的な知識や技術を有する者に指導の機会が多く与えられ、充実した指導を行っているということを意味している。なお、性別に関しては男性が満足に、そして女性が不満足に向かうことから、男性よりも女性の方が指導状況に対して不満を抱いているといえる。

これまで上級指導者の指導意識についてみてきた。では、上級指導者資格に対してはいかなる捉え方をしているのであろうか。表2がその結果であり、設定した13項目それぞれに対し、現段階における資格がもたらす効用と今後のもたらすべき効用の比較が示されている。その結果、次の2点を示唆することができる。

- 1) 上級指導者資格を取得することで、指導者としての資質を向上させるという面に関する効用を認めている。
- 2) 個人の職業や経済面に関しては、資格を取得しても現実上の効用があるとは認めておらず、そうした点に関する今後の資格条件の改善に大きな期待感を持っている。

表1. 満足群と不満足群を外的基準とした数量化Ⅱ類による判別分析結果

説明変数	レンジ	順位	偏相関	順位
（個人的属性要因）				
性別	.007	7	.009	6
年齢層	.211	5	.203	4
（指導状況要因）				
資格取得の動機	.442	2	.194	5
指導者としての身分・立場	.008	6	.008	7
指導頻度	.354	3	.244	3
（個人的評価要因）				
レク知識に対する評価	.596	1	.309	1
レク技術に対する評価	.237	4	.253	2

相関比（ $\eta$ ） = .580      判別率的中率 = 78.2%

表2. レクリエーション上級指導者資格に対する評価（%）

上級指導者資格は	資格取得によってもたらされる効用(現在)			今後の資格取得がもたらすべき効用(将来)		
	そう思う	どちらでもない	そう思わない	そう思う	どちらでもない	そう思わない
①指導上必要な知識を向上させる	81.2	15.9	2.9	88.4	9.7	1.9
②指導者の質を向上させる	79.7	16.4	3.9	90.8	6.8	2.4
③個人的なレク学習を促進させる	79.7	15.9	4.4	87.0	10.6	2.4
④指導上必要な技術を向上させる	74.4	21.7	3.9	83.6	14.5	1.9
⑤専門種目の指導力を向上させる	61.8	29.0	9.2	77.8	19.3	2.9
⑥指導する機会を増やす	54.1	34.8	11.1	67.6	27.1	5.3
⑦指導管理・運営の技術を向上させる	53.2	33.3	13.5	74.4	19.8	5.8
⑧他種目の指導力を向上させる	51.7	36.7	11.6	66.7	26.1	7.2
⑨ボランティア活動として確立される	49.8	36.2	14.0	56.0	32.9	11.1
⑩職業に応用できる	45.9	33.8	20.3	67.6	23.7	8.7
⑪指導者の管理・監督の技術を向上	32.4	44.9	22.7	50.7	37.2	12.1
⑫職業として指導者を自立させる	21.3	36.7	42.0	68.1	21.7	10.2
⑬経済的なメリットをもたらす	15.0	36.7	48.3	55.6	27.5	16.9

N = 207